

12月議会報告



いながき



いとう

吉川美南駅は3月17日開業! ～市民負担ゼロで実現へ～

吉川市は開業日前日の3月16日に記念式典を予定。新駅舎とともに駅前広場(東口は暫定)、自由通路もオープン。自由通路には人間国宝 室瀬和美氏(金のナマズの製作者)の壁画も。

グランドデザインは不明。アクセス道路は未整備。周辺開発も頓挫。利用客の少ないさびしいスタートになりますが吉川市の第5次総合振興計画では新駅は複合新拠点の核としての位置づけ。

明日に向かって、さらに知恵を出すことが求められています。区切りの中間報告です。(いとう記)

<山あり、谷あり>

新駅は必要か▽多額の負担に耐えられるのか▽跡地の有効活用は—。課題山積で進展が望めない中、国は JR 有休地の早期処分を閣議で決定、平成15年度までに処分をと関係機関に通告しました。吉川市はこれに先立って跡地に新駅設置を要望、跡地と一体で周辺の開発を進めたいとの意向を表明していましたが、資金負担のメド、隣接駅との距離の短さ、駅勢圏の弱さなどで道筋は見えない状況でした。この問題にどう向き合うのか。区長制度の廃止を求めて、市長選に挑戦した私にとっても、議員の立場からも避けることの出来ないテーマでした。

<市民負担ゼロの方策>

国交省鉄道管理局。当時の清算事業団(西新橋)。JR 東日本大宮支社など担当の責任者と何度も会い、それぞれの基本的立場や考えを掌握。旧知の政治家や JR 幹部の助言も得ながら事態打開の方策を模索しました。

▽JR には企業にとっての新駅の利用価値の認識、増線分の自己負担の明示を求め、▽運輸機構(清算事業団)には思い切った「開発利益」の地元還元をと要求。土地区画整理事業計画に際しては▽減歩率 50%以上とすること。▽JR グランドは現価で市に譲渡することをレイクタウンや近隣の開発の実状なども調査した上で強く求めました。その一方で吉川市の財政力がいかに弱小かを訴え、JR や運輸機構の対応によっては反対運動を盛り上げると本気で伝えました。これらの折衝や意見表明の席には、毎回中堅幹部など数人が同席、メモ。相手側も一議員ではなく、市民を代表する貴重な存在として受け止めてくれたように思います。平行して吉川市の担当者とも公式非公式に意見交換、進言。議会でも継続して取り上げてきました。

<24 年度中に精算と清算>

新駅は 2 面 3 線。従来の 2 線に中線として 1 線を増設。当面、地震、雨、雪、風などの非常時に活用すること。▽この増線分関係の費用は全額 JR の負担。▽駅舎と 2 線分のホームなど 49 億円は吉川市と運輸機構が 3 対 7 の割り合いで負担。▽市負担の総額は 15 億～16 億円になる見通し。▽運輸機構は新駅関係で 34 億円、跡地の基盤整備費で 85 億円前後、計 120 億円前後を負担することに。自由通路、広場など 6ヶ所のモニュメント、壁画の費用も盛り込まれています。

最終的な精算と清算は 24 年度になりますが、吉川市の負担額は JR グランド(2, 8ha)を現価で購入(1㎡2万6千5百円)出来たことから、事実上市民の負担はゼロで実現することになります。三郷側の武操跡地(50ha)は 361 億円で民間に売却。これと対比しますと「120 億円」は減歩率では 50%強に当ることもご紹介しておきます。ご関係のみなさんのご尽力と英断に感謝申し上げます。

『産廃団地化』を防ぐ、有効な対策を！ いながき 茂行

小松川工専地区に、産業廃棄物中間処分業『㈱エスオーティー』が進出する。

県の産業廃棄物指導課で、許可審査手続き中だったが、12月13日に完成検査が行なわれ、年内にも結果(許可)が通知される見込み。

再々説明会でも住民の納得を得られず

これまで、地域説明会の後、再説明会を2回実施させ、事業者と話し合いを重ねてきた。

エスオーティーは、屋根に代わる防塵ネット・集塵機・散水施設等を新たに設ける他、機器のメンテナンスを強化し、粉塵の発生を出来る限り押さえるとしたが、市民の理解は得られなかった。

県の指導では、『中間処分施設は、原則として建屋内に設けること。』とあるように、本来、

屋根が出来ない立地での事業は行うべきでなく、またこれ以上の産廃団地化は認められない。屋根付きの建物が建てられる場所での操業をすべき。と主張し、進出の再考を求めた。また吉川市は、業者に対し、一歩踏み込んだ強力な指導と折衝を行うとともに、県には、市民が進出反対の意向であることをしっかりと伝えることを要求してきた。

進出反対の署名、一万人を超える

この間、県の産業廃棄物指導課に出向き、県議とともに許可を下ろさないよう話し合いを重ねてきた。吉川市の産廃施設の現状、近隣事業者・住民の被害の実態、これ以上の産廃施設はいらぬという市民の願いを直接訴え続けてきた。

県の態度は、『気持ちには理解できるが、やはり法に沿って判断するしかない。市の個別の事情は市で解決してほしい。』事業者からの計画変更等がなけ

れば県は動けない。』と主張。

膠着状況の中、市民グループが署名活動を実施。市民1万1千人の声を直接、県へ届けた。一方、市の動きは鈍く、効果のない要望書の提出等アリバイ作りのような対応に終始し、進出を許すこととなった。

進出へのハードルを出来る限り上げよ！

市は、『進出防止の裁量権がない。』と言うが、産廃施設は吉川市内に設置される。市民の健康と地域の環境を本気で守るといふ、当事者意識を持って頂きたい。

今後とも想定される特定業種の進出を押さえるための、『地区計画』や『建築協定』など考えられる対策を早急に講じる必要がある。市長は日頃、『安心・安全なまちづくり』や『住み良さ日本一を目指す』といっているが、効果のある具体的な取り組みを求めたい。



12月議会は12月2日から16日まで開催。13議案を全て可決。

主な議案は●市条例の一部改正(来年の3月17日の吉川美南駅開業へ向けた東口暫定駐車場及び駐輪場の設置の他、駅自由通路の設置に関わる条例)●市の新たな10カ年計画となる第5次吉川市総合振興計画(基本構想)●老人福祉センターの指定管理(吉川市連合長寿会へ再度指定)●23年度補正予算について。

一般会計補正予算

歳入歳出に4千8百70万円を減額。主な事業では、子ども手当支給△2億7千万円、生活保護事業に1億3千7百万円を追加。その他、障がい者更生援護・予防接種・幼稚園就園補助・子育て支援センター等運営(市内3カ所目)・道路維持補修・吉川美南駅駐輪場事業。

臨時議会

11月14日、放射性物質除染の為の除染対策として、9千93万円を承認。11月29日、市職員の給与月額引き下げ(給料表平均0.2%、市長も月2千円)を可決。

一般質問

- ① フッ素関連(フッ化物応用協議会、フッ素洗口・塗布及びフロリデーション)
- ② 産廃業者進出に際し、市の対応は。(稲垣)
- ③ 新駅・跡地について
- ④ 新庁舎建設問題
- ⑤ 放射線対策
- ⑥ 自転車交通問題 (伊藤)

新庁舎 4、5年後に完成か いとう 正勝

3.11の大災害。新しい年は混乱やショックを乗り越えて、明日に向かって進む大事な年です。国も県も各自自治体もこの災害を検証、点検しながら、生きた「防災計画」にと全面的な見直し作業に着手しています。関東圏に直下型の大地震が発生する可能性は、過去の地震歴や地層の分析などから「30年間に70%の確率」より相当高い「防災専門家の間の定説です。自助、共助、公助。万全の備えが必要」です。

ます。

庁舎建設検討委は 2月にスタート

市長は新庁舎について「出来るだけ早く」との思いを重ねて表明するとともに、庁舎建設検討委員会での協議結果を踏まえた上でさらに各方面の市民の意見を聞き、決断したい。基本設計、実施設計など順調に行けば「完成は4、5年後になるのかな」と思うと答弁。担当の部長は検討委の発足は▽2月を予定。▽20人のメンバーは学識経験者3人、各団体8人、公募3人、市議会議員4人などとすることを明らかにしました。

市民交流、文化発信 風景にマッチも大切

防災センターとしての機能と役割。消防本部との連携。同時に市庁舎は隣接の「おあしす」とも連動して市民交流や文

化発信の拠点。風景にマッチし、利用し易い、コンパクト、オープン、スピードもキーワードと言えます。吉川には国、県、各自自治体、教師など大勢の公務従事者をはじめ各種の専門職、様々な企業、事業所のプロフェッショナルな人たちがいます。未来を担う若人たちがいます。「着眼大局 着手細心」。さらにいいまちを目指し、やわらかい感性で英知を結集したいと考えます。リーダーシップ。職員の意識。議会の役割の重さの自覚。行財政全般にわたる再チェック。開発、区画整理事業に市税を投入しないことも基本原則にすべきでしょう。出来れば高校生、中学生、小学生にも関心を寄せてほしい。これは私の願いです。

最後にこの4年間の見守り、ご支援に心より感謝申し上げます。佳いお年をお迎え下さい。



放射線

環境省は12月19日、吉川市を汚染状況重点調査地域に指定しました。

埼玉県では三郷市と吉川市のみ。文科省が9月に航空機から調査。一部基準値をこえるところがあり、指定を希望。▽これより先吉川市は11月14日に臨時市議会を開き除染費用など9千万円余の補正予算を可決。▽庁内に放射能物質除染作業プロジェクトチームが発足。独自調査や要請を受けて除染計画を策定。年内、12月中に以下の9ヶ所について表土の除染を実施することを決定。(美南中央公園、第2保育所、青葉保育所、旧第3保育所、育英保育所、三輪野江小、北谷小、中央中、上・中組児童広場)。

美南中央公園では700袋の表土を公園内に埋めました。年明け後さらに保育所、幼稚園など12カ所について除染作業。学校給食の食材についても検知を行う準備も。しっかりとウオッチします。

